

2021年度 私立大学図書館協会東地区部会総会 回答集計結果報告

日 時 : 2021年6月11日(金)~2021年6月17日(木) ※1
主 催 : 成蹊大学(2021年度私立大学図書館協会東地区部会長校)
参加校 : 私立大学図書館協会東地区部会加盟校270校
形 式 : 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度同様に集会形式での開催を見送り、メールとWeb入力フォームの活用による個別回答形式とする。

※1 回答期限を延長して欲しいとの申し出があった大学について2021年6月18日(金)に追加で回答を受け入れた。

1 総会の成立について(成立要件:加盟校の過半数の出席・参加を要する)
加盟校数270に対し、有効回答数は216であり、総会は成立した。

2 報告事項

・以下の通り、各委員について変更の連絡があった。

p.34 1) 国公私立大学図書館協力委員会

②『大学図書館研究』編集委員会

委員 小西麻知子 早稲田大学 → 委員 今村昭一 早稲田大学

委員 渡辺貴夫 立教大学 → 委員 吉場千絵 神奈川大学

⑤シンポジウム企画・運営委員会

委員 岡野純子 慶應義塾大学 → 委員 河野江津子 慶應義塾大学

p.35 2) これからの学術情報システム構築検討委員会

委員 柴尾 晋 明治大学 → 委員 竹澤紀子 早稲田大学

委員 近藤 茂生 立命館大学(2021.5.31退任)

・添付資料の誤りについて指摘があった。

p.27の2020年度第1回寄贈資料搬送事業の募集結果が、③寄贈資料搬送事業と④その他の2箇所にて記述されていた。

3 協議事項（議決要件：出席・参加校の3分の2以上の賛成を要する）

(1) 2020年度 東地区部会事業報告

賛成 : 216

反対 : 0

よって「2020年度 東地区部会事業報告」は承認された。

(2) 2020年度 東地区部会決算報告及び監査報告

賛成 : 216

反対 : 0

よって「2020年度 東地区部会決算報告及び監査報告」は承認された。

(3) 2020年度 東地区部会研究部決算報告及び監査報告

賛成 : 216

反対 : 0

よって「2020年度 東地区部会研究部決算報告及び監査報告」は承認された。

(4) 2021年度 東地区部会事業計画（案）及び予算（案）

賛成 : 216

反対 : 0

よって「2021年度 東地区部会事業計画（案）及び予算（案）」は承認された。

(5) 2021年度 東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）

賛成 : 216

反対 : 0

よって「2021年度 東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）」は承認された。

(6) 協議事項全般について

- ・次年度繰越金の額について、協会内にワーキンググループを設けるなどして、会費を下げずして繰越金を減らす方策等の検討が必要ではないかとの意見があった。
- ・決算報告について、備考欄には決算時の事情を説明する内容を記載すべきではないかとの意見があった。
- ・p.41の2021年度私立大学図書館協会東地区部会予算（案）について、支出の部の「研究部交付金」の備考に記載されている内容がわかりづらいとの意見があった。
- ・p.39、p.41、p.43に一部判読しにくい箇所があるとの指摘があった。

4 その他全般について

以下の通り回答があった。

- ・今年度の私図協東地区における私立大学図書館協会の活動推進案「インターネット技術の活用」、期待しております。
- ・コロナ禍で集会形式がメール・Web 回答となりましたが、今後もこの形式での実施を希望致します。私立大学では図書館の予算や人数が厳しいところも多く、本学を含め、なかなか出張できない館も多いかと思います。研修会などは集会と Zoom などのハイブリッドですと現地参加したい方は現地に行けますし、地方の大学図書館は Zoom ですと参加しやすくなります。Web 配信でしたら非常勤や嘱託職員にも参加が可能な場合もありそうですし、図書館職員の知識を深めることができるのではないのでしょうか。
- ・貸出履歴保存についての報道には注視しています。難しい問題です。
- ・コロナ禍状況下にあって、各大学図書館においては対応等に苦慮するところがあるかと思いますが。館長会は、大学図書館間で、リアルな問題解決に向けて、情報を共有したり意見を述べあう貴重な機会として、こんな時こそ開催する意義があるのではないのでしょうか。次年度は、開催の方向でご検討いただければと思います。

以上